



つなげよう北小の伝統・・・ ～6年生を送る会～

今年度最終の3月を迎えました。6年生は卒業の準備に、そして、5年生は北小のバトンを引き継ぐ準備に、さらには、全学年とも、1年間のまとめに入っています。

2月24日には、6年生を送る会が行われました。テーマは、



これまでお世話になった6年生に向けた感謝の会であると同時に、企画の中心となった新児童会役員の初仕事でもあります。今年度も with コロナの中での送る会となりましたが、感染対策を踏まえたアイデアが随所に仕込まれていました。

第1部では、体育館にいる5・6年生と教室にいる1～4年生とをオンラインでつなぎ、LIVE形式で楽しみました。思い出のスライドや〇×クイズ、壁面メッセージなど、趣向を凝らした取組がありました。また、第2部では、校庭においてプレゼント（寄せ書き）渡しが行われ、久しぶりに全校が一堂に会して楽しむことができました。コロナ禍を見極め、今できる最大限のことを一生懸命考え、実現に結びつけた新児童会役員に拍手を送ります。短い時間ではありましたが、誰もがほんわかとする心温まる時間を過ごすことができました。

☺☺☺☺☺☺☺☺



さあ、6年生を送る会が終わると、6年生にとっては、**卒業を現実のものとして意識**する時となります。**6年間の成長の証、集大成**として、これまでの自分を振り返るとともに、残りわずかとなった小学校生活を大切にしてほしいと思います。3月17日は、**小学校生活最後の授業**。6年間の思いとともに、73人のすべての力を注ぎ込んだ素晴らしい卒業式になることを心から願っています。在校生も先生たちも、精一杯バックアップします！！



◎1/10 始業式の折、「3学期=0学期」という話を子どもたちにしました。3学期は、1年間のまとめであると同時に、次の学年(新学年)の準備の学期でもあるという意味です。

今年度も残りわずかとなりました。しかし、わずかであっても、自分を高めるために必ずできることがあるはず。1日1日を大切に、最終日(卒業式・修了式)には満足感に満ちあふれて終わりたいものです。最後までカッコイイ自分、ステキな自分をめざしてほしいと思います。



在校生から卒業生へ..

今までありがとう..



在校生一人ひとりの思いが込められたプレゼントです。

「啓蟄」(二十四節気)・・暦の上では、啓蟄(けいちつ)を迎えました。土の中で冬ごもりをしていた生き物たちが目覚める頃のことです。生き物たちは、久しぶりに感じる麗らかな春の光とさわやかな風の中で生き生きとしてきます。北小の子どもたちも、春の暖かさとともに元気いっぱいです。